

National
Parks
of Japan



大山隠岐国立公園

SHIMANE × TOTTORI × OKAYAMA = ∞

満喫プロジェクト

環境省におけるSUP2025の取組状況
(R3.2~R8.3)

令和8年3月24日 地域協議会

大山隠岐国立公園満喫プロジェクト 主な成果例

これまでの成果例（1）

滞在施設の充実・上質化と利用者数の回復

- 大山隠岐国立公園全域において滞在施設が充実し、利用拠点の面的魅力が向上。
- 日本人・外国人ともに利用者数はコロナ禍以前の水準に向けて着実に回復中。
- 2018年の再整備後、利用者が減少していたビジターセンターの利用者数も、面的魅力向上に伴い回復。

① 大山蒜山地域

民間事業者の知見を活かしたキャンプ場再整備

過年度整備のビジターセンター（大山ナショナルパークセンター）と合わせて利用拠点の魅力増大



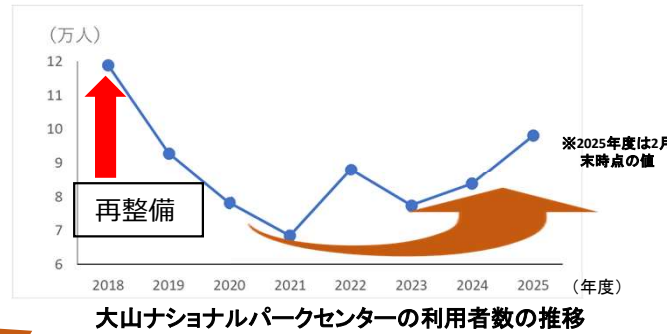
2017年度(2018年)に再整備したビジターセンターと2022年度に整備したキャンプ場

③ 三瓶山地域

三瓶山頂トイレの新規設置による快適な利用環境の確保



2025年度に供用開始した山頂トイレ



② 島根半島地域

施設改修による町並み改善・滞在上質化



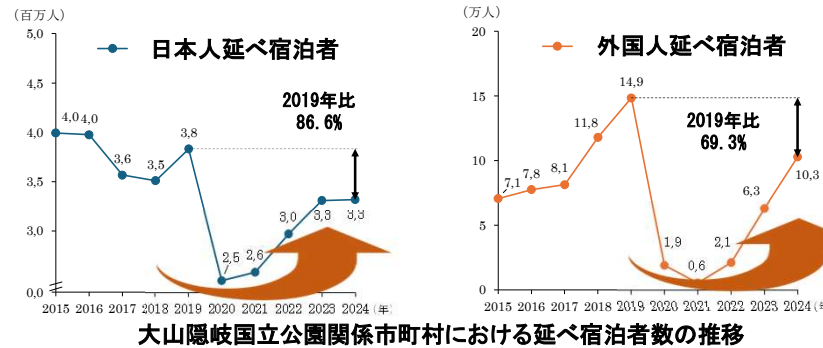
2024年度に改修した飲食施設兼土産物屋

④ 隠岐島地域

展望施設の整備に加え、解説の刷新・情報発信による利用環境の向上



2018年度に整備したデッキと2022年度までに整備した解説板（3基）、2024年度作成（更新）ガイド冊子



大山隠岐国立公園満喫プロジェクト 主な成果例

これまでの成果例（２）

保護と利用の好循環を生み出す体制構築

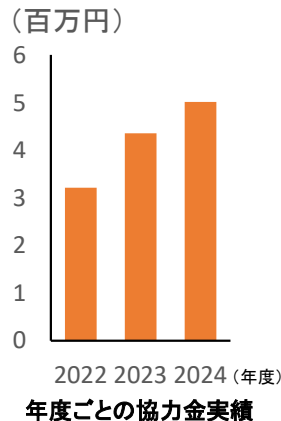
- 入山協力金や民間主体との連携により国立公園の保護と利用の好循環を創出。
- 計画面では、ジオパークとの連携、公園内自治体によるインタープリテーション全体計画検討などが進む。
- 関係者連携は3段階のレイヤーを持つ満喫プロジェクト地域協議会・部会により下支え。

①入山協力金

- 山岳環境を維持するため、2022年より大山入山協力金を本格導入
- 協力金は、自然保護活動や登山道等の補修、トイレの維持管理等の経費に充当



協力金は、随時支払い又は定額（年間）支払いが可能



②オフィシャルパートナーとの連携

- ゴールドウインが造成・販売したツアーの情報発信等の協力
- モンベルと海士町、知夫村、西ノ島町との包括連携協定を締結
- サントリーホールディングスが参画して湿原・草原等の保全再生が進む鏡ヶ成が自然共生サイトに認定



景観シミュレーションに基づき、サントリーホールディングスが通景伐採を実施

③保護と利用の基本となる計画の検討

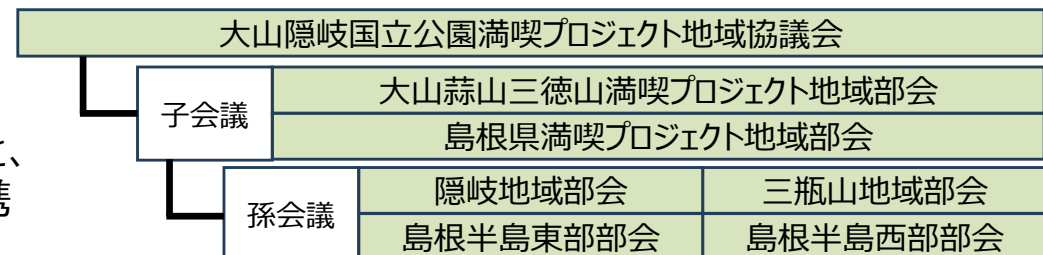
- 隠岐ジオパーク保全・活用計画の検討と国立公園の協働型管理運営の連動
- 江府町における奥大山インタープリテーション全体計画策定ワークショップの開催



隠岐ジオパーク保全活用計画策定に向けた検討会議と現地調査

④関係者連携を支える地域協議会

- 満喫プロジェクトの取組全体を統括する地域協議会と、地域別での連携を支える地域部会による関係者連携



大山隠岐国立公園満喫プロジェクト 2025年までの主な取組と成果

●訪日外国人国立公園利用者数(2025年目標 14.9万人)
2021年 2022年 2023年 2024年
0.6万人 → 2.1万人 → 6.3万人 → 10.3万人

① 魅力向上先端モデル事業

- 大山蒜山地域における利用の上質化・高付加価値化に向けた基本構想を策定
- 集中的に魅力向上に取り組む利用拠点として大山寺地区を選定し、マスタープランを策定中



② プロモーション

- 統一デザインによる分かりやすい情報発信（ポケットガイド）
- ウェブサイト・公式SNSによる国内外への情報発信



③ 魅力を維持する保全・再生活動

- 鏡ヶ成、蒜山、三瓶山等における湿地や草原の保全・再生のための協働
- 大山蒜山地域における二ホンジカ対策のための連携



取組による成果・効果

- ステップアッププログラム及び地域協議会・部会の体制の下、民間事業者・市町村・県・国が方向性を共有し、それぞれの取組を実施するとともに進捗を確認し、公園全体が一体となった取組が進められた。
- 施設整備やまちなみ改善の上質化事業等により利用拠点の充実・改善が進み、公園全体として利用の質が向上した。

今後の課題(取組の方向性)

- コロナ禍以前の水準までの利用者数の回復とさらなる拡大に取り組むとともに、利用者数だけでなく利用の質を向上させるための施策の実施。
- 満喫プロジェクトの実施体制の発展により、利用の質の向上に加えて保全・再生活動も含めた国立公園全体の協働型管理運営のための体制構築・計画策定が一層進む仕組みの構築。
- 地域協議会としての連携事業を推進することにより、情報共有に加えて新たな価値を創出する場として機能強化。



(参考資料) 具体的な取組の例

【大山蒜山三徳山地域】

➤ 国立公園における滞在体験の魅力向上先端モデル事業

- ✓ インバウンド再開を踏まえ、国立公園満喫プロジェクトの更なる展開として、民間活用による国立公園利用拠点の面的な魅力向上に取り組み、美しい自然の中での感動体験を柱とした滞在型・高付加価値観光の推進を図る

- 大山隠岐国立公園大山蒜山地域（三徳山含む）の利用の高付加価値化に向けた基本構想を策定（令和7年3月）
- 令和7年度は、集中的に魅力向上に取り組む拠点である大山寺地区を対象に、マスタープランの骨子の検討を進めた

民間の発想を活かした滞在体験の魅力向上をパッケージで実施

(イメージ図)



大山寺地区（鳥取県大山町）

【三瓶山地域】

- トイレの整備
 - ・ 男三瓶山山頂トイレ整備に関して、令和5年度実施設計を経て、令和6年度に工事を実施。令和7年6月に完了、供用開始。
 - ・ 令和6年7月に、環境省と男三瓶山頂トイレ維持管理協議会（事務局：大田市）とで維持管理協定を締結し、適切な管理体制を整備
- 直轄施設の利用者数把握
 - ・ 登山者カウンターの活用により、大平山デッキの利用者数、三瓶山周回線の利用者数把握を行う。



男三瓶山頂トイレ



登山者カウンター



【大山蒜山三徳山地域】

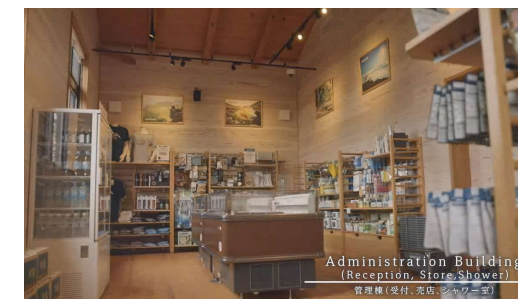
➤環境省直轄キャンプ場の再整備・民間による管理運営

● 下山野営場

- 環境省では全国初のDBO方式を採用。
- 令和2年度から着工、令和5年度工事完了。
- 令和6年4月より、愛称「モンベル大山キャンプサイト」としてオープン。
- 新たにデッキサイト（AC電源付）やオートサイト、常設テントサイト等を整備。
- 令和8年度は登山者向けレイトチェックアウトを行うなど、大山登山のベースキャンプとしてソフト面の充実を図る。



デッキサイト



管理棟内での物販

● 豪円山野営場

- 令和元年から着工、令和4年度工事完了。
- 令和5年7月より、愛称「キャンプフィールドGOEN」としてオープン。
- 新たにオートサイト（AC電源付）やフリーサイト等を整備。
- 学校等の団体利用、日帰り利用にも対応。



Car Camping

【大山蒜山三徳山地域】

➤ニホンジカの痕跡調査

- 令和6年秋頃、職員により大山蒜山地域内の主要登山道沿線におけるニホンジカの痕跡調査を実施。
- 大山や蒜山三座の高標高域では痕跡がほとんど見られないものの、上蒜山と皆ヶ山の鞍部等低標高域においては食痕やシカ道等相当程度の影響が見られた。

➤ニホンジカに関する情報交換会の実施

- 令和7年12月、大山蒜山地域関係行政機関・関係団体等による情報交換会を開催し、大山蒜山周辺地域におけるシカの状況について情報共有を行った。
- 同地域に迫ってきているニホンジカの脅威について共通認識をもち、今後の広域で連携してニホンジカ対策に取り組む機運が醸成された。



上蒜山～皆ヶ山の低標高域で見られたシカの食痕（ハンノキ）



「大山蒜山周辺地域の植生をニホンジカから守る広域連携情報交換会」@大山町

【隠岐島地域】

➤ 隠岐ジオパーク保全活用計画策定検討

- 令和4年9月に実施されたユネスコ世界ジオパークの再認定審査において、地域資源の保全活用計画の策定が推奨事項として指摘
- 大山隠岐国立公園を含む隠岐諸島における持続可能な地域づくりの実現と地域資源の保全と活用を目的とした、隠岐ジオパーク保全・活用計画策定に向け検討を実施
- 令和6～7年度は、一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構が中心となって進められた現地調査結果を踏まえ、地域関係者による計画検討のための会議を実施。

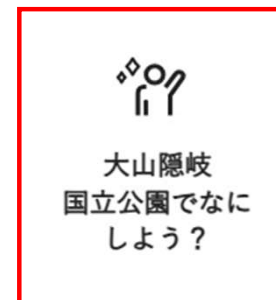


各ジオパークサイトの現地調査の様子



島前3町村での検討会議

- 「国立公園に、行ってみよう！」サイト及びJNTO国立公園サイトへのコンテンツ掲載（令和8年3月現在 63件）
- ・ 令和7年度は蒜山・新庄村を巡るモデルコースを公園内を周遊する形に再設定し「国立公園に、行ってみよう！」サイト及びJNTO国立公園サイトに掲載予定。



大山隠岐国立公園内で楽しむことのできる体験コンテンツを掲載

国立公園に、行ってみよう！」サイト（上段）
及びJNTO国立公園サイト（下段）



プロモーション

- **大山隠岐国立公園公式SNSでは、本省SNSと差別化を図り、地元の特化した投稿とし、投稿案を請負業務で発注、情報発信の質向上を目指した。**
- **隠岐島地域、島根半島地域の魅力や楽しみ方を紹介したポケットガイドを改訂。利用拠点・交通拠点等で配架。**
- **ツーリズムEXPOジャパンの商談会に、平成29年度から継続的に参加（中止となった年を除く）。令和7年度は12社（主に国内向けツアー造成旅行会社）に対し、山陰海岸国立公園と連動させたコース情報の提供を行った。**
- **令和7年度は国立公園オフィシャルパートナー×西日本自治体等意見交換会（大阪）にWEB参加。管内からは鳥取県、大田市観光協会が参加し、各社の取組等の情報提供を通じて今後の取組や連携について意見交換を実施。**
- **「国立公園乃印」「日本の国立公園めぐりスタンプラリー」にて国立公園の周遊促進。**



大山隠岐公式SNSサムネイルの統一



隠岐島地域のポケットガイド改訂

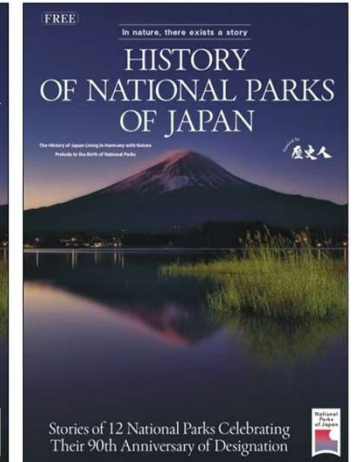
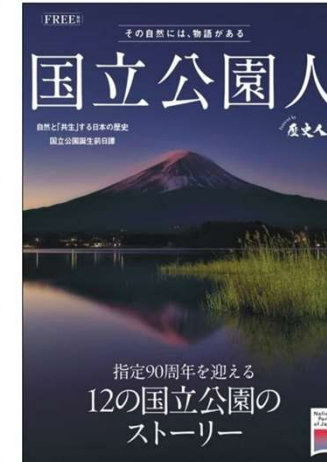


ツーリズムEXPOジャパンの様子

【民間事業者との連携】

➤ 「国立公園人」の発行

- ・株式会社ABCアークが環境省と連携して指定90周年を迎える国立公園を紹介するフリーペーパーを作成。



【民間事業者等への支援】

➤ 環境省令和7年度の補助事業

- ・国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業（4件：島根半島地域）
 - ・店舗の外壁をまちなみ改善のため改修（4件）

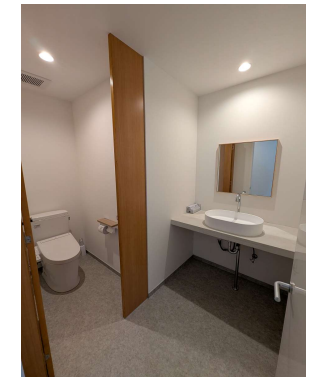
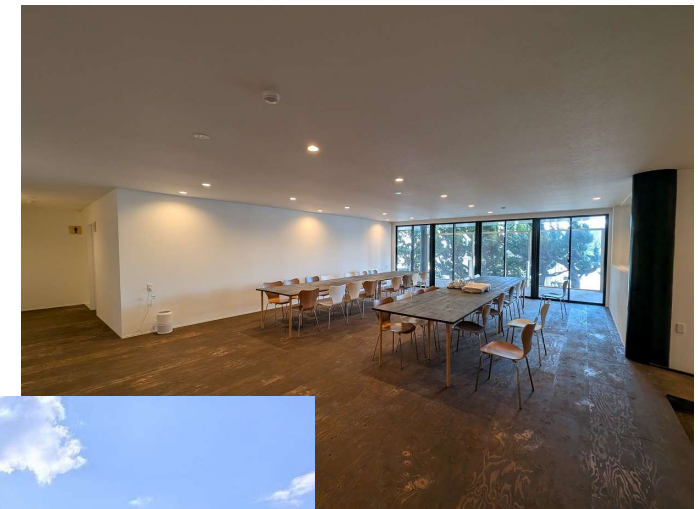
改善前



改善後



「上質化事業」の活用事例（R6年度）





【概要】

- 関係者の連携強化や知見・経験の共有を図り、100周年に向けて展望を開くため、地域で活躍する若手に登壇いただき、講演会やトークセッションを行ったもの。

【参加人数】

＜会場参加者数＞ ＊会場 米子市淀江文化センター

- ・第一部：112名（関係者含まず）
- ・第二部：45名

＜参考：事前申込者数（第一部・二部分けず）＞

- ・会場参加：109名
- ・オンライン：44名



第一部
講演会・トークセッション



第二部 関係者意見交換



新庄村 ひめの餅振る舞い



パネル展示